

令和5年度 一般社団法人横浜市都筑区医師会 事業結果

基本方針

横浜市都筑区医師会は、都筑区を中心とする地域住民の医療・保健・福祉の向上に関する事業を行う さらに震災等災害発生時には行政と協力し救護活動を行う また医師相互の協調と連携を深め、日々進歩する医療・医学の専門家集団として使命を果たすべく誠心誠意努力する

2024/6/10

事業費

公1 地域医療及び地域保健事業

地域医療・地域保健の向上を目的として、あらゆる分野で市民と直接対話し、情報提供を行うことで、疾病の早期発見・予防に繋げ、市民が安心して日常生活を送れるよう健康管理を行っている
 感染症の定点観測に積極的に協力することで、いち早く感染症の実態を把握し、正しい情報を市民に提供し、感染症予防予防・拡大防止を図る
 健診により市民の健康管理の意識を高めると共に、心電図判定、二次読影による専門家の関与で重症化を防ぐ
 赤ちゃん会・養育ネットワーク・保育園医・学校医・産業医活動を通じて、直接市民の相談に応じ、不安の解消に務めるとともに、講演会・勉強会により市民に健康に関する知識の普及を図る

補 感染症サーベイランス

感染症の発生拡大を防ぐため早期に市民に対して情報提供を目的として、横浜市衛生研究所に協力して、区内の登録医療機関において感染症発生情報を収集し報告を行う
 まとめられた情報は、当会ホームページにおいて情報提供するとともに各医療機関においては患者に注意喚起を促し、あわせて予防に関する知識の提供を行う（敬称略）

小+COVID-19	水野恭一、 大山 学、 山下恒久、 栗屋敬之、 豊田彰史、
内+COVID-19	小川憲章、 長田展明、 小林雅子
眼	上川床総一郎
S T D	小川公一、 林 康子

補 乳幼児健診・予防接種

赤ちゃん会への医師派遣協力
 乳幼児の病気の予防と早期発見及び健康の保持・健康の増進を目的として、4カ月健診、1歳半健診、3歳健診をそれぞれ毎月1、2回医師の派遣協力の実施
 幼児虐待の早期発見や体調の変化が激しい乳幼児等の情報提供を行う
 （中止日には、取消線）

4か月児健診 (火) 13:15~14:45	令和5年4月4日 ・18日	令和5年5月9日	令和5年5月23日	令和5年6月6日	令和5年6月20日	令和5年7月4日	令和5年7月25日	令和5年8月1日	令和5年8月22日	令和5年8月29日	令和5年9月5日	令和5年9月26日
	令和5年10月3日 ・17日	令和5年11月7日	令和5年11月28日	令和5年12月5日	令和5年12月19日	令和6年1月9日	令和6年1月23日	令和6年1月30日	令和6年2月6日	令和6年2月20日	令和6年3月5日	令和6年3月26日
1歳6か月児健診 (木) 10:15~11:45	令和5年4月6日 ・27日	令和5年5月11日	令和5年5月25日	令和5年6月1日	令和5年6月8日	令和5年6月22日 13:15~14:45	令和5年7月6日	令和5年7月20日	令和5年8月3日	令和5年8月24日	令和5年9月7日	令和5年9月21日 13:15~14:45
	令和5年10月5日 ・19日・26日	令和5年11月16日 13:15~14:45	令和5年11月30日	令和5年12月7日	令和5年12月21日	令和6年1月11日	令和6年1月18日 13:15~14:45	令和6年1月25日	令和6年2月1日 ・8日	令和6年2月22日	令和6年3月7日	令和6年3月21日 13:15~14:45
3歳児健診 (木) 13:15~14:45	令和5年4月6日 ・20日	令和5年4月27日	令和5年5月11日 ・25日	令和5年6月8日	令和5年6月29日	令和5年7月6日	令和5年7月20日	令和5年7月27日	令和5年8月3日 ・24日	令和5年8月31日	令和5年9月7日	令和5年9月28日
	令和5年10月5日 ・26日	令和5年11月9日	令和5年11月30日	令和5年12月7日	令和5年12月21日	令和6年1月11日	令和6年1月25日	令和6年2月1日	令和6年2月8日	令和6年2月22日	令和6年3月7日	令和6年3月28日

補 学校心臓検診心電図判定

都筑区内の公立小学校1年生、中学1年生の全児童及び1年生児検診で要経過観察とされた児童の心電図の判定を行う
 心疾患をもつ児童の学校活動での運動強度の管理指導を行う
 先天性心疾患の早期発見、致死性不整脈の早期発見によって、児童の突然死を予防することを目的としている
 30校 3,842人を判定した
 区責任者：百々秀心 市検討委員：大山 学
 判定委員：大山路、 小林賢司、 斉木和夫、 佐々木治、 百々秀心、 山下恒久、 曾我恭司

補 肺がん検診二次読影会

横浜市が実施している肺がん検診のX-Pのチェックを月3回行っている
 専門医によるX-P読影により、肺がん検診の精度を上げることで肺がんの見落とし防止・早期発見に繋がりに地域住民の健康維持に寄与している

令和5年度	4月			5月			6月			7月			8月			9月			小計(4月~9月)
実施日	4月6日	4月11日	4月25日	5月9日	5月11日	5月23日	6月1日	6月13日	6月27日	7月6日	7月11日	7月25日	8月3日	8月8日	8月22日	9月7日	9月12日	9月26日	—
二次読影医出席人数	2	4	4	4	2	4	2	4	4	2	4	4	2	4	4	2	4	4	60

提出医療機関数	12	19	18	15	6	20	11	20	21	14	22	21	13	20	21	19	18	22	—
読影件数(人数) デジタル	74	198	122	61	25	116	46	221	218	83	171	189	54	169	140	110	154	214	2,365
読影件数(人数) フィルム	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	4	2	0	2	2	0	6	3	22
読影件数合計	74	198	122	61	25	116	46	221	221	83	175	191	54	171	142	110	160	217	2,387
フィルム枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	8	4	0	4	4	0	12	6	44
開始時間(24時間表記)	18:10	19:35	19:26	19:29	18:13	19:30	18:15	19:29	19:25	18:12	19:27	19:30	18:22	19:29	19:30	18:20	19:26	19:24	—
終了時間(24時間表記)	18:35	20:09	19:54	19:45	18:23	19:58	18:41	20:12	20:12	18:52	20:03	20:05	18:42	20:01	19:52	19:12	19:57	20:05	—
読影実施時間	0:25	0:34	0:28	0:16	0:10	0:28	0:26	0:43	0:47	0:40	0:36	0:35	0:20	0:32	0:22	0:52	0:31	0:41	—

令和5年度	10月			11月			12月			1月			2月			3月			小計(10月~3月)	総計(令和5年4月~令和6年3月)
実施日	10月5日	10月10日	10月24日	11月2日	11月14日	11月28日	12月7日	12月12日	12月26日	1月4日	1月9日	1月23日	2月1日	2月13日	2月27日	3月7日	3月12日	3月26日	—	—
二次読影医出席人数	2	4	4	2	4	4	2	4	4	2	4	4	2	4	4	2	4	4	60	120
提出医療機関数	12	22	24	14	23	22	14	24	24	10	12	20	16	24	22	13	22	23	—	—
読影件数(人数) デジタル	81	197	292	120	302	296	112	175	273	47	48	203	100	292	227	84	191	295	3,335	5,700
読影件数(人数) フィルム	0	3	9	0	10	10	0	5	6	0	1	0	0	7	4	0	5	2	62	84
読影件数合計	81	200	301	120	312	306	112	180	279	47	49	203	100	299	231	84	196	297	3,397	5,784
フィルム枚数	0	6	18	0	20	20	0	10	12	0	2	0	0	14	8	0	10	4	124	168
開始時間(24時間表記)	18:15	19:30	19:25	18:17	19:30	19:30	18:12	19:27	19:25	18:06	19:20	19:26	18:17	19:30	19:23	18:28	19:25	19:28	—	—
終了時間(24時間表記)	18:48	20:00	20:30	19:10	20:25	20:40	18:55	20:02	20:30	18:27	19:30	20:03	19:03	20:20	20:05	19:15	20:10	20:28	—	—
読影実施時間	0:33	0:30	1:05	0:53	0:55	1:10	0:43	0:35	1:05	0:21	0:10	0:37	0:46	0:50	0:42	0:47	0:45	1:00	—	—

赤ちゃん会

0歳児を持つ保護者、特に初めて出産した母親を対象として行政が実施する赤ちゃん会のうち、年10数回については医師会館で行われている
 赤ちゃんとの手遊びや育児の情報交換、仲間づくりなどを目的に実施されるが、本会からも医師が出動し健康相談に応じるなど、保護者の不安を解消し、
 よりよい育児が行えるようサポートしている

養育ネットワーク

福祉保健センターからの要請により、小児科標榜医が中心となってテーマに沿った内容で講話を行う
 赤ちゃん会への医師派遣協力 (敬称略)
 今年度、開催無し

補 保育園医

主に区内の横浜市立保育園や私立保育園において園医として園児の健診等を実施し、健康管理、情報提供を行っている
 園長及びスタッフが日常業務での不明点や注意点などを医師に相談したり、勉強会や講演会、ミニレクチャーなどを実施することで、保護者に対する
 情報提供及び乳幼児の健康維持に役立っている
 園長と園医との意見交換会及び講演会 今年度は開催せず

補 学校医

区内の横浜市立小・中学校において学校医を推薦・派遣し、児童・生徒の健康管理を行っている
 研修会、教員及び養護教諭との連絡会が開催され、児童・生徒の健康維持を促進するためにどうすべきか情報交換を行っている
 学校保健会の研修会等の開催に協力し、毎年2回講師を派遣しPTA向けの講演会を通して児童・生徒の健康管理について学び、また保護者自身の
 健康管理にも寄与している
 【書面】学校保健会都筑支部「総会」7月

補 産業医

産業医は従業員50人以上の企業に対して義務付けられている為、区内企業からの要望により日本医師会認定産業医の資格のある会員を推薦、派遣を行う
 横浜北地域産業保健センターで行われる産業医を雇えない中小企業向けの無料の健康相談事業に協力し、多くの労働者の健康維持に役立っている (敬称略)
 今年度は募集なし

継1	市民向け情報提供事業
	市民に有益な情報を発信することにより、ひとりひとりの健康管理・健康維持の意識向上の助けをする 正しい情報・知識を与えることで、過大な不安を解消することで、真に医療及び介護を必要としている人の受診及び利用機会をつくる
補	都筑区民まつり
	横浜市営地下鉄「センター南駅」までの広範囲にわたって行われる都筑区民まつりにおいて、「健康相談コーナー」のブースを設け、区民の健康に対する不安を解消し、健康管理・健康維持の意識向上のために健康相談を行う（全市一斉健康相談の実施） 地域住民の健康増進、福祉の向上、地域振興等をはかる 今年度は都筑区歯科医師会、都筑区薬剤師会と福祉保健センターと合同でスタンプラリーを開催 令和5年11月3日（金・祝）10：00～15：00 @センター南駅前広場にて（今年度担当：新入会員） 相談者：86名 出動医（敬称略）：海老原 直樹 片山 徹 望月 優暁 大澤 基
補	広報誌こんにちは
	機関紙として、ご利用者・ご家族や関連機関の方々に、当事業所をご理解頂き、親しみを持って頂くために毎月発行している 内容は、事業所内部の行事や勉強会開催について、職員について、介護等の豆知識、又は、制度等の変更についてのお知らせなど多岐に渡る 利用者への配布と共に不特定かつ多数の人々も閲覧することができるように本会のホームページにも掲載する 月1回更新（計12回更新）
補	在宅事業部門事例発表会
	本会が主催となり区内全介護保険事業所に参加を呼びかけ、事例発表及び在宅療養関連の講演会を開催する（介護保険利用者を含め毎年70～80名の参加）（敬称略） 今年度は開催せず
補	予防接種及び検診等の実施医療機関のお知らせ
	高齢者インフルエンザ…夏に取りまとめを行い、市医に提出 結果は下記URLにて公表される https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/yobosesshu/koureiinflu.html 成人用肺炎球菌ワクチン…夏に取りまとめを行い、市医に提出 結果は下記URLにて公表される https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/yobosesshu/seiijinhaikyuu.html 麻しん・風しん混合ワクチン及び風しん抗体検査…発生についての案内を会員に周知 協力医療機関は下記URLにて公表されている https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/yobosesshu/masinhusin.html 子どもの予防接種（ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、ロタウイルス、四種（二種）混合、BCG、麻しん風しん[MR]、水痘、日本脳炎、子宮頸がん[HPV]） …申請様式の希望があれば配布して市医に提出 協力医療機関は下記URLにて公表されている https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/yobosesshu/child.html 各種健診・検診（横浜市健康診査、肝炎検査、前立腺がん、胃がん、子宮がん、乳がん、大腸がん、肺がん）…年度末に実施希望を確認 実施医療機関には逐次検診用紙を準備する https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/kenshin-kensa/kakushu/top.html
補	市民医学講演会
	地域医療連携推進の一環として、行政の共催を受け、一般市民を対象にした講演会を年1回開催 令和5年10月1日（日）14：00～15：00 @かけはし都筑 1階多目的研修室 講師：HAKU Breast Care Clinic 院長 白 英 内容：乳がんの早期発見のために今できること！ 参加者：19名
補	救命講習会
	対市民向け心肺蘇生救命講習会を実施（今年度は開催なし）

経2 災害対策事業

大規模災害発生時に想定される傷病者の救命・救護のため、地域救護拠点の体制を整え、合わせて地域住民に対して非常時にも冷静に対処できるよう実施訓練を通して初期医療の重要性を認識させことに努める

防災訓練実施協力

令和5年度都筑区災害医療対策訓練（仮設救護所訓練）協力

令和6年3月9日（土）15:00～16:30 @都筑区役所1階福祉保健センター（仮設救護所及び地上駐車場脇ピロティ）

講義：都筑区災害医療体制について、仮設救護所の役割について

仮設救護所エリア確認・搬送経路確認

令和5年度都筑区災害医療対策訓練（情報伝達訓練）協力

令和5年9月1日（金）9:30～15:00（この時間内に可能な通信手段で情報伝達訓練を行う）参加医療機関 71施設（うち開設は60施設と連絡）

令和6年1月17日（水）9:30～15:00（〃） 47施設（うち開設は38施設と連絡）

令和6年3月11日（月）9:30～15:00（〃） 45施設（うち開設は39施設と連絡）

災害時に各医療機関毎に黄旗を掲げて診療する方針転換のため、開設状況を区役所福祉保健課宛に可能な通信手段全てで連絡する訓練

防災救護拠点

被災直後に仮設救護所として休日急患診療所を使用できるよう、また医療活動拠点として情報収集が可能であるよう体制を整える

情報受伝達訓練（偶数月第1木曜日）

・4月20日（木） ・6月1日（木） ・8月3日（木） ・10月5日（木） ・12月7日（木） ・2月1日（木）

防災医療講演会：今年はなし

危機管理対策協議会

災害医療連絡会議

災害発生時すぐに対応できるよう区役所、中核病院、消防、警察、歯科医師会、薬剤師会と協力し体制づくりをしている

筑区災害医療連絡会議 4月18日（火） 5月30日（火） 7月11日（火） 8月1日（火） 11月24日（金） 1月9日（火）@都筑区役所

都筑区新型コロナウイルス感染症対策実務者連絡会：緊急事態において、情報共有を速やかに行い実務的な調整を通じて、地域住民の安全や健康を保持し、医療福祉介護従事者が感染や事故等に巻き込まれずに活動ができるよう対応をする

13:30～ @理事長室(+Zoom)	第36回	4月25日（火）	深澤 立	小川憲章	小林雅子	福元 晃	行政4名（区役所3、消防署1）	北部病院1名	薬剤師会1名	医師会在宅部門0名	
	第37回	5月23日（火）	深澤 立	小川憲章	小林雅子	福元 晃	高山瑠衣Z	行政4名（区役所3、消防署1）	北部病院1名	薬剤師会1名	医師会在宅部門1名
	第38回	6月20日（火）	深澤 立	小川憲章	小林雅子	福元 晃	高山瑠衣Z	行政3名（区役所2、消防署1）	北部病院1名	薬剤師会1名	医師会在宅部門1名
	第39回	7月25日（火）14:30～	深澤 立	小川憲章	小林雅子	福元 晃	高山瑠衣Z	行政3名（区役所2、消防署1）	北部病院1名Z	薬剤師会1名	医師会在宅部門0名
	第40回	9月26日（火）	深澤 立	小川憲章	福元 晃	高山瑠衣Z	行政3名（区役所2、消防署1）	北部病院1名	薬剤師会1名	医師会在宅部門1名	
	第41回	10月17日（火）	深澤 立	小川憲章	小林雅子Z	福元 晃Z	高山瑠衣Z	行政2名（区役所2、消防署0）	北部病院1名	薬剤師会2名	医師会在宅部門1名
	第42回	11月21日（火）	深澤 立	小川憲章	小林雅子	福元 晃	高山瑠衣	行政3名（区役所2、消防署1）	北部病院1名	薬剤師会2名	医師会在宅部門1名
	第43回	12月19日（火）	深澤 立	小川憲章	小林雅子	福元 晃	高山瑠衣	行政3名（区役所2、消防署1）	北部病院0名	薬剤師会2名	医師会在宅部門0名
	第44回	1月16日（火）	深澤 立	小川憲章	小林雅子	福元 晃	高山瑠衣	行政3名（区役所2、消防署1）	北部病院1名	薬剤師会2名	医師会在宅部門1名
	第45回	2月20日（火）	深澤 立	小川憲章Z	小林雅子	福元 晃	行政2名（区役所1、消防署1）	北部病院1名	薬剤師会1名	医師会在宅部門0名	
	第46回	3月19日（火）14:15～	深澤 立	福元 晃	高山瑠衣	行政2名（区役所1、消防署1）	北部病院1名	薬剤師会1名	医師会在宅部門1名		

災害医療コーディネーター委員会：今年はなし

災害支援

災害地への寄付

令和6年能登半島地震医療支援金

消防署との情報交換会

消防署救急隊連絡会

消防署上層部との連絡会（敬称略）

今年度は開催せず

警察署との情報交換会

警察署上層部との連絡会
 医務嘱託医、検視医の派遣協力（敬称略）
 今年度は開催せず

歯科医師会・薬剤師会との情報交換【三師会】

医療者である医師、歯科医師、薬剤師の三者がより緊密な協力体制をとり、地域の保健・医療・福祉・介護の向上に寄与するとともに、三師会会員の学術振興、相互の親睦等を深め、医療界の様々な変化に対応し、連携を確立することを目的とする

役員定例： 20：00～ @理事長室 5月10日（水） 6月27日（火）※20：30～ 【総会】8月22日（火）20：00～ 8月22日（火） 10月6日（金） 12月15日（金）（忘年会）

歯科医師3名、薬剤師3名、村上浩、深澤立、福元晃、小林雅子、相川真吾、吉井涼子

研修会： 今年度は、疾患別医療・介護連携事業において研修会が多数あるため、三師会主催の研修会はなしとする。

10月11日（水） 心不全の基礎研修会 心疾患医療介護連携事業協議会と共催

区民祭り 三師会と保健活動推進委員会と協働企画としてスタンプラリーを開催した。

10月6日：打ち合わせ10月25日：景品の袋詰め 11月3日：スタンプラリー実施

経3 地域医療及び地域保健連携事業

地域の医療・介護に真摯に向き合い、行政、基幹病院、かかりつけ医、在宅事業者など地域医療・介護を担うあらゆる分野の専門家が連携を取り、協力し合うことでそれぞれの役割を明確にし、医療・介護の質を向上させ、患者・利用者の精神的、身体的負担を減らすことに努める

在宅医療連絡会

ケアネットつづき医療連携協賛金
 在宅医療を実施している医師の勉強会、連携体制の整備、現状の説明会、基幹病院との連絡会、区内在宅事業者との連絡会などを通じて在宅医療を取り巻く様々な課題を解決し在宅医療の利用者によりよい医療を提供する

在宅医療講演会（ケアネットつづき医療連携研修）年4回

第1回 研修会：令和5年5月25日（木）19：00～ @Web 第2回 研修会：令和5年7月27日（木）19：00～ @Web

認知症サポート医事業

高齢者保健福祉として「認知症サポート医（現在6名）」を登録し協力

認知症サポート医は、区役所や地域の認知症と関わる多職種と協力し、認知症の本人とその家族を取り巻く医療や福祉・介護における課題を明確にし、サポート体制を充実させる解決ができるよう活動を行う。

認知症サポート連絡会及び都筑区役所が主催する認知症フォーラムにおいて、講師として参加し、市民に認知症に対する理解を深めてもらうことに努めている

連絡会： 第30回令和5年5月30日（火）19：30～ 第31回令和4年8月29日（火）19：30～ 第32回令和4年11月28日（火）19：30～ 第33回令和4年2月6日（火）19：30～

研修会： 令和5年10月31日（火）19：30～ ハイブリッド（Zoom） 参加者44名（うちオンライン33名）高齢者の精神疾患 症例から～気分障害（うつ病・躁うつ病）、妄想性障害～ 講師 青山洋 リンクスメンタルクリニック 院長

地域基幹病院との運営協議会、幹事会

地域中核病院との連絡協議会、幹事会等を実施

近隣病院との「連携の会」等を実施

患者をはじめとする地域住民が効率よく医療機関を利用し最善の医療を受けられるように、毎月、地域基幹病院である北部病院との協議を重ね、連携強化及び情報収集を行っている

昭和大洋横浜市北部病院

都筑区地域連携協議会幹事会	都筑区地域連携協議会	地域医療支援病院運営協議会	地域医療連携フォーラム
第71回 令和5年 4月25日（火）19：30	第42回 令和5年 5月16日（火）19：30〈Web併用〉	第46回 令和5年 6月14日（水）19：30	第27回 令和5年 6月22日（木）19：30
第72回 令和5年10月 3日（火）19：30	第43回 令和5年10月17日（火）19：30〈Web〉	第47回 令和5年 9月13日（水）19：30〈書面〉	第28回 令和5年11月22日（水）19：30〈新横浜グレイス〉
第73回 令和6年 1月16日（火）19：30	第44回 令和6年 1月30日（火）19：30〈Web併用〉	第48回 令和5年12月13日（水）19：30〈新横浜グレイス〉	第29回 令和6年 2月22日（木）19：30
		第49回 令和6年 3月13日（水）19：30	

労災病院

令和5年7月12日（水） 第66回地域医療支援委員会 令和6年3月12日（水） 第69回地域医療支援委員会

藤が丘病院

令和5年4月13日（木） 藤が丘連携フォーラム 令和5年7月13日（月） 地域医療支援病院運営協議会

補	福祉保健連絡会					
	福祉保健センター、北部病院、地域ケアプラザと都筑区医師会員及び職員との意見交換並びに懇談会を実施					
	福祉保健連絡会において都筑区福祉保健センター、区内地域ケアプラザ、基幹病院の地域連携室、訪問看護ステーションの看護師、訪問看護福祉士、ケアマネジャー、医師が参加し、地域住民の健康維持のニーズに応えるべく、情報交換会、各事業所の事業報告などを行い医療、保健、福祉の連携を深める					
	都筑区福祉保健医療活動に係る連絡会					
	今年度は開催せず					
	地域ケアプラザ運営協議会					
	地域ケアプラザ運営協議会委員の出動協力					
	葛ヶ谷地域ケアプラザ、東山田ケアプラザ、加賀原ケアプラザ、新栄地域ケアプラザ、中川地域ケアプラザの運営協議会に参加し、高齢者を中心に子どもや障害者が幅広い地域生活を営めるよう、医師の視点から施設の有効利用、町内交流活動の促進等の意見交換を行う					
	構成メンバーは、地区の町内会、老人会、婦人会、ボランティア団体、障害者団体の各代表が参加（敬称略）					
		施設名	運営協議会委員	協力医名	代理協力医名	代理協力医名
		横浜市葛が谷地域ケアプラザ	小川憲章（平成29年4月～）	長田展明（令和2年4月～）	神山一行（令和2年4月～）	
		東山田地域ケアプラザ	小林雅子（平成27年6月～）	石井 修（令和2年4月～）	小林雅子（令和2年4月～）	高山瑠衣（令和4年4月～）
		横浜市加賀原地域ケアプラザ	村上 浩（平成30年4月～）	神山一行（令和2年4月～）	相川真吾（令和2年4月～）	
		横浜市新栄地域ケアプラザ	深澤 立（平成31年4月～）	林 毅（平成20年4月～）	深澤 立（令和2年4月～）	東 浩平（令和2年4月～）
	横浜市中川地域ケアプラザ	福元 晃（平成29年4月～）	深澤 立（令和2年4月～）	福元 晃（令和2年4月～）	小林雅子（令和2年4月～）	
	横浜市都田地域ケアプラザ	相川真吾（令和5年4月～）	小林雅子（令和4年4月～）	小川憲章（令和4年4月～）	2022年新設	
地域ケアプラザ所長・協力医・代理協力医連絡会・・・令和6年2月7日（水）19:30～21:00 @医師会2階理事長室及びWeb併用						
介護認定審査会						
都筑区審査部会の委員を派遣						
@都筑区役所						
	部 会	第一審査部会	第二審査部会	第三審査部会	第四審査部会	第五審査部会
	曜日時間	火 13:15	火 15:30	木 13:15	木 13:30	木 19:00
	審査委員	斉木和夫	深澤 立	小林雅子	武田 茂	笠井謙和

他3 その他の医療保健事業

地域住民の福祉と健康を守ることを目的とした地域福祉保健計画推進会議・委員会への出席や地域住民が安心して医療機関を利用し、その後も継続して治療や療養ができるよう病診連携に係る地域連携協議会への出席など、行政等からの要請で会議に出席し医師の立場から意見を述べ地域医療の向上に協力する各医会の分野にわかれ、それぞれの分野で最近の話題、注目される事柄を積極的に研究し、最新知識を発信することで地域医療の向上を図る

学術講演会や勉強会を開催し、知識の研鑽と共に医療現場の現状や課題について情報共有し、地域医療の向上に役立てる

補	伝達講習会					
	診療報酬改定に伴う医療機関向けの勉強会を2年に1度開催					
	令和6年は後ろ倒しの6月改定のため、令和5年度は実施せず、令和6年度の5月開催					
	社会保険診療懇話会					
	県医及び市医より講師を招き保険診療に関する情報の周知と理解を目的に実施					
	・診療報酬改定の方向性及び保険診療の現況と今後、保険診療の注意点、審査の査定等について（敬省略）					
	令和5年9月28日（木） 19:30～ @会議室 web併用					
	(1) 『次期診療報酬改定の問題点』 講師：神奈川県医師会 理事 藤倉 寿則					
	(2) 『妥当・適切な保険診療とは？持続可能な医療保険制度を目指して』 講師：横浜市医師会 常任理事 一色 聡一郎					
	社保部会主催勉強会					
	正当な保険診療を行うため講演会を行う					
	今年度は開催せず					

北部六区会長・副会長会

横浜北部地域6区の会長・副会長が定期的に会合をもち、各区の状況と具体的な対応について情報を共有する

令和5年4月12日(水) 19:30~@新横浜グレイスホテル(青)

令和5年9月16日(土) 19:00~@状元楼 横浜中華街本店(神)

令和6年2月29日(木) 19:30~@横浜ベイホテル東急25F「パシフィックルーム」(港)

内科医会(会長:宮崎直道)

診療科別に特化した勉強会を実施 また地域中核病院等と協力し症例検討会等を開催

会員の親交を深め、医学の知識及び情報交換を行う(敬称略)

内科医会連携勉強会幹事会

第3回:令和5年9月27日(水) 19:30~ @会議室

宮崎直道 小林雅子 相川真吾 昭和大学横浜市北部病院:坂下暎子 金野竜太

第4回:令和6年3月5日(火) 19:30~ @会議室(担当顔合わせ)

宮崎直道 相川真吾 石和直樹 原田博文 昭和大学横浜市北部病院:加藤雅典 松倉聡 磯村直栄 小形典之

内科医会講演会

今年度は計画期間不足により開催なし

外科医会(会長:岸利昭)

会員相互の友好・親睦を深め、知識及び情報の共有をはかり、自身の向上となる場を提供する

地域中核病院との病診連携の推進と親睦を深める

今年度は開催せず

整形外科医会(会長:吉崎賢一)

診療科別に特化した勉強会を実施 また地域中核病院等と協力し症例検討会等を開催

学術講演会を年2回開催(敬称略)

令和5年12月6日(水) 19:30~ 都筑区整形外科医会学術講演会 @Zoom

一般講演:「人工関節置換をきっかけに始めたい骨粗鬆症への取り組み」講師:昭和大学横浜市北部病院整形外科 准教授 前田 昭彦

特別講演:「多職種連携・地域連携で行う骨粗鬆症治療」講師:慶友整形外科病院 骨関節疾患センター センター長 岩本 潤

小児科医会(会長:百々秀心)

北部病院こどもセンター及び小児循環器センターとの連携をはかり、会員の知識の共有及び意見交換会を行う

会員の親交を深め、医学の知識及び情報交換を行う(敬称略)

第2回 横浜市小児科医会・都筑区小児科医会合同研修会

日時:令和5年9月6日(水) 19:30~ @会議室とWeb(Zoom)併用

講 演①:「川崎病の免疫抑制剤使用下で重症感染症を併発した2例」講師:昭和大学横浜市北部病院 渡辺 佳孝

講 演②:「当院で経験した先天性サイトメガロウイルス感染症例について」講師:昭和大学横浜市北部病院 島 はるか

特別講演:「小児の成長曲線と成長障害」講師:横浜労災病院 小児科部長 菊池 信行

耳鼻科医会(会長:佐藤成樹)

北部病院との親睦会と症例検討会の開催(年2回)

会員相互の交友・親睦を深め、知識及び情報の共有をはかり、自身の向上となる場を提供する(1年~2回)(敬称略)

今年度は実施せず

皮膚科医会(会長:村上昇)

北部病院との親睦会と症例検討会の開催(年2回)

会員相互の交友・親睦を深め、知識及び情報の共有をはかり、自身の向上となる場を提供する(年1~2回)(敬称略)

今年度は実施せず

眼科医会(会長:上川床総一郎)

北部病院との学術講演会と病診連携会の開催

会員の親交を深め、医学の知識及び情報交換を行う

<p>横浜北部地区・昭和大学横浜移植部病院眼科 WEB眼科地域連携の会</p> <p>令和5年10月27日（金） 19：30～ @Teams</p> <p>「白内障術後に発症した浸潤型副鼻腔真菌症による鼻性視神経症」 講師：昭和大学横浜市北部病院眼科 助教 加藤大智</p> <p>「数例の症例報告（難治手術例を中心に）」 講師：昭和大学横浜市北部病院眼科 教授 藤澤邦見</p> <p>参加人数 37名（医師会員26名 北部病院眼科医7名 その他4名）</p>	
産婦人科医会（会長：塚原隆亮）	
<p>北部病院との症例検討会の開催（年2回）</p> <p>会員相互の交友・親睦を深め、知識及び情報の共有をはかり、自身の向上となる場を提供する</p> <p>今年度は開催せず</p>	
泌尿器科医会（会長：深澤立）	
<p>北部病院及び近隣病院の連携を図る</p> <p>横浜地区、川崎地区の泌尿器科専門医と連携、知識を共有する勉強、意見交換を目的とした場を作る</p> <p>泌尿器科以外の医師に泌尿器疾患を中心に知識等の普及を図る</p> <p>今年度は開催せず</p>	
精神科医会（会長：青山洋）	
<p>医療連携及び勉強会日開催</p> <p>今年度は開催せず</p>	
プライマリ・ケア医会（会長：小林雅子）	
<p>プライマリケア医としての知識その他を高める事を目的とし、多職種からの知識経験を得る</p> <p>症候学勉強会、講演会、懇親会の開催</p> <p>今年度は開催せず</p>	
会員向け学術講演会（担当：小林雅子）	
<p>毎月1回特定の診療科に依存しない勉強会を実施</p> <p>肺がん検診勉強会（症例検討会）の実施</p> <p>医療安全研修会において院内感染対策勉強会を実施</p> <p>・学術講演会（第3水曜日）19:30～（敬称略）</p>	
令和5年4月19日	第239回【Web】『動脈硬化・糖尿病をくいとめる～予防から早期治療・最近のトピックスまで～』 講師：藤沢湘南台病院 糖尿病代謝科 科長 兼 中央診断部検査室長 佐藤 忍
令和5年5月24日	第240回【Web】『漢方の知恵でポジティブ・エイジング～漢方医学の立場から慢性便秘症を考える～』 講師：東京女子医科大学附属東洋医学研究所 所長/教授 木村 容子
令和5年6月21日	第241回【Web】『今どきの心不全管理と地域連携』 講師：新潟大学大学院 循環器内科学 教授 猪又 孝元
令和5年7月12日	第242回【Web】『膵疾患を疑うとき～日常診療と専門診療との連携～』 講師：聖マリアンナ医科大学 消化器内科 主任教授 立石 敬介
令和5年8月9日	第243回【Web】『高齢者の不眠症～出口を考慮した治療について～』 講師：横浜市総合保健医療センター センター長 塩崎 一昌
令和5年9月20日	第244回【web】『CKDにおける新たな治療戦略～ガイドラインを含めて～』 講師：横浜労災病院 腎臓内科 神山 貴弘
	『新しい心不全の標準治療薬としてのSGLT2阻害剤』 講師：医療法人 渡辺医学会 桜橋渡辺病院 顧問 岩倉 克臣
令和5年10月18日	第245回【Web】『インフルエンザの診断と治療戦略～COVID19との鑑別も含めて～』 講師：長崎大学大学院医薬学総合研究科 病態解析・診断学分野 教授 柳原 克紀
令和5年11月15日	第246回【Web】『高齢者のサルコペニア・フレイルと糖尿病管理 -高齢者糖尿病診療ガイドライン2023を見据えて-』 講師：東京大学大学院 医学系研究科 老年病学 准教授 小川 純人
令和5年12月13日	第247回【Web】『最期まで自宅で看取る緩和ケアのコツ』 講師：横山医院 在宅・緩和クリニック 院長 横山 太郎
令和6年1月17日	第248回【Web】『咳嗽の診断と治療について』 講師：昭和大学横浜市北部病院 呼吸器センター 呼吸器内科 教授 松倉 聡
令和6年3月13日	第249回【Web併用】『アルツハイマー型認知症治療の新たな選択肢』 講師：香川大学医学部 精神神経医学講座 教授 中村 祐
グリーフケアモデル事業	
<p>大切な人の死別は、人が人生で直面する減少の中でも精神的に打撃の大きな出来事の人つと言われており、心身に及ぼす影響が強く健康障害を招く危機にさらされるにもかかわらず、遺族に対してのケアの手が差し伸べられていない</p> <p>グリーフケアについて周知することで、地域住民の健康障害を予防し、自立した生活を維持していく支援及び医療への貢献につなげていく</p>	
研修会	令和5年1月27日（土） 14：00～ @会議室 看取り期にある家族へのケア 講師 深澤りつクリニック 山本美和

市民向け講演会 令和5年10月22日(日) 13:30~ @昭和大学横浜市北部病院 西棟4階講堂(Web併用) 『在宅で看取るといふこと』 講師:深澤りつクリニック 院長 深澤立
遺族会 ラナつづき(グリーンケアサポートの集い) 毎月第2土曜日 14:00~16:00 @リバージュ104号室
令和4年5月13日(土) 令和4年6月10日(土) 令和5年7月8日(土) 令和5年8月12日(土) 令和5年9月9日(土) 令和5年10月14日(土) 令和5年11月11日(土) 令和5年12月9日(土) 令和6年1月13日(土) 令和6年2月10日(土) 令和6年3月9日(土)

その他勉強会

広報委員会

ホームページによる地域住民への広報活動、ディスクロージャー、区内医療機関の検索、理事会速報の報告
GW、お盆期間、年末年始の医療機関応需情報の掲載、役員名簿等の更新

横浜市医師会各事業部会への参加協力

各事業部会への参加協力 (敬称略)	
広報事業部会	横浜市医師会報原稿依頼(今年度は対象者なし)
社会保険事業部会	外来感染対策向上加算カンファレンス及び実地訓練 令和6年3月29日(金) 20:50~ @会議室
	医療安全研修会 令和6年3月29日(金) 19:45~ @会議室
福祉厚生事業部会	横浜DeNAベイスターズシーズンシートチケットを抽選 令和6年3月28日に配信 抽選は令和6年4月2日(5月30日(木)分チケット)

疾病別医療・介護連携事業

高齢期特有の療養上の課題や疾患別の支援体制を強化し、医療・介護の重度化を防止、医療・介護費用の抑制につなげ、市民の望む人生の最終段階を過ごせるように医療から暮らしまでを一体的、均一的に支援できる体制構築を目指し、行政や介護関係機関等の連携機能を強化を図る。

1) 糖尿病医療介護連携事業

- ・糖尿病医療介護連携協議会をメンバー18名
- ・協議会の開催 年4回開催 7/24(月) 10/23(月) 12/20(水) 1/31(水)
- ・多職種連携研修会の開催 年1回開催 2/28(水) 19:30~ テーマ:地域の職種別の糖尿疾患に関する業務内容・課題・提案等について
- ・地域資源リストの作成 データ42件集まり作成した。初年度は、協議会メンバーでの情報共有として活用する。

2) 摂食嚥下医療介護連携事業

- ・摂食嚥下医療介護連携協議会をメンバー16名
- ・協議会の開催 年間3回開催 7/24(月) 9/12(火) 1/22(月)
- ・多職種連携研修会 年2回開催 11/6(月) 17名参加 各メンバーからの業務内容や役割のプレゼンテーション 12/4(月) 16名参加 事例) 最期まで口から食べることを強く願ったターミナル患者へのアプローチ

3) 心疾患医療介護連携事業

- ・心疾患利用介護連携協議会をメンバー16名
- ・協議会の開催 年4回開催 7/4(火) 8/23(水) 11/8(水) 1/26(金)
- ・多職種連携研修会の開催 年2回開催 10/11(水) 19:30~ ハイブリッドで開催 29名の参加あり タイトル:心不全の基礎研修会12/5(火) 19:30~ 参加者数15名 事例検討会 症例)慢性心不全の利用者・家族の意向に応じる難しさ
- ・地域資源リストの作成 メンバーの情報のみで作成し、初年度は、協議会メンバーでの情報共有として活用する。

4) 緩和ケア

- ・緩和ケア医療介護連携協議会を設置 メンバー19名
- ・協議会の開催 年3回開催 7/11(火) 10/10(火) 1/23(火)
- ・研修会の開催 年2回開催 10/10(火) 19:30~ 参加者12名 多職種の役割 1/23(火) 19:30~ 参加者19名 事例検討会
- ・医師向けスキルアップ研修会(年1回開催 5/31(火) 19:30~ 講師:西木戸修先生 タイトル:シン・緩和ケア病棟 ~紹介された患者を病棟で診て、どのように経過したか

神奈川モデル「自宅療養者等守り支援」

陽性者で自宅療養になった患者のうち、基礎疾患や年齢による重症化が危ぶまれる患者に対し電話などで経過観察をし、必要に応じて訪問や酸素投与などの処置を行うことで、療養施設や医療機関の逼迫を緩和し、重症化患者防止もしくは重症化患者を早期に医療機関へ搬送できる体制を整える

令和4年4月1日から令和5年度5月7日(日)、新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ変更になるまでの期間限定事業

輪番月	R4年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R5年4月	5月
輪番医人数	12	12	11	8	10	10	12	10	10	9	11	11	10	5
訪問				3	2	1	2				1	1	1	
酸素投与					1					1				

他4 会員福利厚生事業

会員相互の親睦を図る目的で、野球部及びゴルフ部のクラブ活動、納涼会・新年会等を実施すると共に、会員の利便性を高める目的で会報誌の発行などの会員福祉事業を行う

野球部

横浜市医師会野球部と合同練習及び対外試合の実施
 横浜市医師会・富士市医師会・南アルプス市医師会の三市医師会親睦野球大会への参加
 高齢化につき無し

ゴルフ部

会員の親睦を深めるため年2～3回開催（敬称略）
 ゴルフ部（世話人：伊東文行、栗栖純穂）
 今年度は開催せず

納涼会、新年会

医師会員の福利厚生に関すること
 納涼会（在宅事業部門主催） 今年度は開催せず
 忘年会（在宅事業部門主催） 今年度は開催せず

会報誌発行

会報誌の発行（年1～2回発行）
 第39号 令和5年9月発行 第40号 令和6年1月発行

漢方勉強会

漢方治療に興味のある先生によるアットホームでざっくばらんな漢方の勉強会
 今年度は開催せず

班会

班編成：6班 地区毎に医療機関を班編成し、情報収集や被災時などの対応を共有する（敬称略）

	第1班	第2班	第3班	第4班	第5班	第6班
班長	佐藤 和己	勝野 雅弘	稲葉 鋭	吉家 大亮	土屋 優子	門倉 光隆
副班長	村上 昇	竹内 正弥	安藤 直子	石井 修	王 紹英	-
	青山 洋	橋本 佳子	栗屋 敬之	-	-	-
担当副会長	福元 晃	深澤 立	小林 雅子	小川 憲章	村上 浩	-

【書面会議】第2班班会 令和5年 6月 2日 8月23日 9月 6日 令和6年 3月29日

【書面会議】第3班班会 令和6年 1月29日

【書面会議】第4班班会 令和5年 7月14日 令和6年 1月31日

つづき秋の会

本年度より周年開催へ変更
 今年度は開催せず

会員褒章規程による表彰及び慶弔金

褒章規程による表彰（令和5年度対象者19名）

日本公衆衛生協会長表彰	授賞	小川メディカルクリニック 小川 憲章
神奈川県保健衛生表彰	授賞	大山クリニック 大山 学
神奈川県救急医療功労者表彰	授賞	伊藤 正吾
神奈川県教育委員会表彰	授賞	山下 恒久
横浜市社会福祉・保健医療功労者市長表彰	授賞	リンクスマメンタルクリニック 青山 洋
神奈川県医師会 長寿会員80歳表彰	授賞	新保 敏和
神奈川県医師会 長寿会員80歳表彰	授賞	浜 正子

横浜市医師会 学術功労者表彰	授賞	小林クリニック 小林 雅子
横浜市医師会 長寿会員77歳表彰	授賞	中島 宏昭
横浜市医師会 長寿会員77歳表彰	授賞	弘中内科小児科 弘中 太郎
横浜市医師会 長寿会員77歳表彰	授賞	山口医院 山口 了三
横浜市医師会 長寿会員70歳表彰	授賞	第一眼科 富永 一恵
横浜市医師会 長寿会員70歳表彰	授賞	大久保 直樹
横浜市医師会 学校医永年勤続退職	授賞	大久保 直樹
横浜市医師会 学校医在籍20年表彰	授賞	浜崎眼科医院 濱崎 健太
横浜市医師会 学校医在籍20年表彰	授賞	さねよし耳鼻咽喉科 実吉 健策
横浜市医師会 学校医在籍20年表彰	授賞	深見耳鼻咽喉科 深見 雅也
横浜市医師会 学校医在籍10年表彰	授賞	いなば耳鼻咽喉科 稲葉 鋭
横浜市医師会 学校医在籍10年表彰	授賞	なかがわ耳鼻咽喉科 福元 晃

在宅医療連携拠点事業（公益目的支出計画対象外の為 他3）

I 都筑区在宅医療相談室を設置

ア 退院時支援	⇒	病院からの依頼 入退院調整29件（うち訪問診療の紹介22件/年・訪問看護32件/年）
イ 地域包括支援センター・ケアマネージャー等からの相談・支援	⇒	地域包括支援センター12件/年 ケアマネージャー32件/年
ウ 情報支援	⇒	相談総件数125件/年（内 かかりつけ医・往診・訪問診療の紹介31件/年 訪問看護紹介40件/年）

II 医療連携・多職種連携業務

ア かかりつけ医のバックアップの仕組みの確保・強化	⇒	かかりつけ医不在にあたり、会員より2回要請あり、バックアップの仕組みを支援した。
イ 在宅患者急変時の緊急一時入院に対応する病院との連携	⇒	市への報告中止となった
ウ かかりつけ医の在宅医療研修の企画・実施	⇒	3回実施 第1回「褥瘡のみかた・治療の考え方～在宅WOCの視点から～」：7/14(金)参加43名、 第2回「薬剤師と医師の連携はこうでなくっちゃ！」：10/26(木)参加50名 第3回「在宅における耳鼻咽喉科診療」：2/14(水)参加32名
エ 多職種間での連携会議・事例検討	⇒	都筑区医師会地域多職種連携協議会総会7月、3月・幹事会 毎月（7月、3月を除く） 都筑区版事例検討方式に区内6地域ケアプラザを会場にし、6/23 9/28 12/21 1/10 3/26 6回開催
オ 地域ケアプラザとの連携強化	⇒	各ケアプラザの主任ケアマネと共に上記の事例検討会の開催を実施した。東山田地域ケアプラザ：からだ相談会への参加 中川地域ケアプラザ運営会議への参加

III 市民啓発業務

ア 市民向け講演会の開催	⇒	「笑う門にはいい介護～虐待が抱擁に変わる時」 2/18(日) Zoom限定開催、参加73名
--------------	---	---

管理費 法人を運営するため

法人会計共通

総会

定時総会（決算）、また臨時総会として予算総会を実施
1) 定時総会（令和3年度決算、事業結果報告、令和4年度予算、令和4年度事業計画）
令和5年6月7日（水）19：30 @会議室

理事会

毎月1回（原則第3木曜日の翌日）開催
1) 定例会 20：00～ @理事長室 ★は移動理事会
4月21日（金） 5月19日（金） 6月7日（水） 6月16日（金） 7月21日（金）★ 9月22日（金）
10月20日（金） 11月17日（金） 12月22日（金） 1月19日（金） 2月16日（金） 3月22日（金）

企画会議

毎週火曜日昼に開催
1) 定例会 13：30～ @理事長室 ★は臨時
令和5年 4月4日（火） 4月11日（火） 4月18日（火）
5月2日（火） 5月9日（火） 5月16日（火） 5月30日（火）
6月6日（火） 6月13日（火） 6月27日（火） 6月29日（火）
7月4日（火） 7月11日（火） 7月18日（火）
8月1日（火） 8月8日（火） 8月29日（火）
9月5日（火） 9月12日（火） 9月19日（火）
10月3日（火） 10月10日（火） 10月17日（火） 10月31日（火）

	11月 7日 (火)	11月28日 (火)	
	12月 5日 (火)	12月12日 (火)	12月19日 (火)
令和6年	1月 9日 (火)	1月16日 (火)	1月30日 (火)
	2月 6日 (火)	2月13日 (火)	2月27日 (火)
	3月 5日 (火)	3月12日 (火)	3月19日 (火)

会計監査

年1回開催
令和5年5月17日 (水) 19:30 @理事長室
※ (関連事項) 土業事務所との打合せ・・・会計事務所＝月次処理25日前後1回・会計報告会月末月初のいずれか1回、社会保険労務士月1回

役員報酬

年1回
規定通り12月に支給

交際費

消防出初式 協賛金・会長の登壇 (実行委員会として)・・・令和6年1月6日 (土) @都筑公会堂
センター北まつり・・・令和6年3月23・24日 (土・日)
都筑区懇話会・・・令和6年1月16日 (月) @グレイスホテル
開所式・内覧会・・・南区医師会館開所式
忘年会・新年会・・・都筑区役所新年賀詞交歓会、横浜市病院協会新年祝賀会、都筑区懇話会新年会、都筑警察署激励懇親会、都筑区消防団との新春意見交換会、神奈川県医師会関連合同忘年会、新年会 (神奈川県医師会・保土ヶ谷区医師会)
親接会 (港南区医師会)、納涼会 (中区医師会)、忘年会 (戸塚区医師会)
式典等・・・旭区医師会50周年記念式典、神医社創立45周年記念
懇親会・・・都筑区懇話会総会・懇親会、芋煮会、都筑区社会福祉協議会総会・懇親会
会費・・・都筑区懇話会、警察官友の会、センター北商業振興会、牛久保西町内会、横浜北地区産業保健推進連絡協議会、都筑区社会福祉協議会
慶弔・・・村田輝雄氏瑞寶雙光章祝、長谷川秀男氏93歳をお祝いする会、長谷川秀男氏ご令室香典、栄区野村会長ご母堂供花、

備品購入・修繕

診療所エアコン交換修理
診療所薬局分包機購入

収益事業

他1 休日診

都筑区医師会では、地域住民に安心していただける質の高い医療を提供し、生命と健康を守るため、緊急医療を確保することを目的としている
 一次救急として、翌日にはかかりつけの医療機関を受診してもらうまでの一時的な対処療法や応急処置等を施す施設である 入院治療等の必要がある場合には近隣病院へ紹介できる体制を整えている

都筑区休日急患診療所事業

都筑区休日急患診療所の運営及び診療業務に関すること

	1) 診察日数 72日		2) 出動医 232人(延べ)				3) 患者数 4,360人(延べ)								合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
内科	64	112	42	111	153	264	166	179	352	621	191	102	2,357		
小児科	77	117	60	78	51	211	195	153	236	222	230	124	1,754		
外科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	5		
整形外科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2		
皮膚科	3	11	3	5	5	4	0	6	9	7	4	5	62		
泌尿器科	5	2	2	3	6	1	4	5	3	6	0	1	38		
眼科	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3		
耳鼻咽喉科	4	10	10	18	0	4	8	8	10	45	13	2	132		
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
歯科	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2		
その他	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	5		
合計	155	252	118	215	215	486	374	353	611	906	440	235	4,360		
診療日数	6	7	4	6	5	6	6	6	6	8	6	6	72		
出動医数	19	19	9	13	13	14	13	13	17	24	13	12	179		

会議・・・休日診医師会議 令和5年11月28日(火) 19:30～ @Zoom 休日診事務会議 令和5年11月11日(土) 20:00～ @Zoom 休日診看護師書面会議 令和5年11月16日(木)

地域防災活動に関すること・・・今年度なし

横浜市北部夜間急病センター運営会議に関すること(敬称略)・・・令和5年11月20日(月) 19:30～ @横浜市医師会 出席者(都筑区抜粋): 深澤立・福元晃・相川真吾

都筑区休日急患診療所従事者慰労会に関すること(年1回開催)・・・今年度は開催せず

新型コロナウイルスに関する事業・・・発熱診療・検査業務

協賛金・寄付金・・・センター北まつり、ピーコルカップ、つづき夢駅伝、日本盲導犬協会、日本ユニセフ、日本赤十字、国連WFP

他2 在宅事業部門

訪問看護ステーション事業

目標 利用者 225名/月(訪看200名+ナーシング25名) 訪問件数 1260件/月(1件単価 10,541円)+ナーシング医療保険 120件/月(1件単価7,705円)
 ⇒ 203名/月(訪看185名+NH18名) 訪問件数 1238件/月(1件単価 10267円)+NHサポート時間167.5時間/月

1. サービスの質の向上、職員一人一人の目標達成に向け教育環境を整える

1) 人材育成システムの構築に努め、スタッフの自己成長を目指す

- ① 管理者・主任・リーダーの会議を定期的に行う(週1回短時間、月1回1時間)体制変更・一体化強化に努める ⇒ 管理者が統括となり、主任が副管理者、
- ② 超過勤務の是正 ⇒ リーダーが主任となり体制が変化したこと、退職の看護師3名、産休1名おり変動の1年だった。超過勤務はオタスケ導入により減っている
- ③ 医療的コーディネーターが2名になるため、役割分担し、地域との連携に努める ⇒ コーディネーター1名が6拠点の統括となり、中心となり動いている
- ④ オンライン研修などを定期的に行なう(月1回)事例検討やスタッフの得意分野を生かして事業所内に還元していく ⇒ それぞれの専門分野が出来てきている
- ⑤ 記録の見直しを行い、記録時間の短縮を目指す ⇒ 記録、看護計画の見直しを行い記録時間の短縮中
- ⑥ 職員の面接を行う

2. 事業所体制を強化し、経営の安定を図る

1) NHとの一体化を強化し、ケアの質の向上に努める

- ① 適切なスタッフの確保 ⇒ 常勤看護師4月、R6.1に合わせて2名入職したが、1名はNHへ移動(兼務)、常勤1名、非常勤2名退職、非常勤1名産休。R6.4PT1名入職予定
 一体化と体制変更に伴い、非常勤看護師から常勤への変更を検討。OT1名退職に伴い訪問件数確保のため理学療法士常勤1名増員を目指す
- ② NHとの一体化を強化し、訪問看護の件数は維持しつつ、NHの利用者数の増加を目指す ⇒ 退職、産休の看護師はいたが、訪問件数は維持できた。NHの利用者数は例年に比べ逝去された利用者も多く人数的には増やせなかった

ヘルパーステーション事業

目標	利用者 360名/年 日動訪問時間 2232.24時間/年 時間単価 7,016円	280名/年 日動訪問時間2849.74時間/年
	夜間・早朝時間 794.28時間/年 時間単価 10,606円 深夜時間 323.76時間/年 時間単価11,414円	夜間・早朝時間659.33時間/年、 深夜時間151.5時間/年
1. ナーシングホームとの一体化により、両事業の経営の安定をめざす		
1)	訪問介護の職員をナーシングホームとの一体的体制に活かし、総合的な黒字を目指す	
①	日勤帯の業務体制を工夫し、両事業の人員の充実を図る	⇒ 一部のナーシングホームの介護職も兼務となり、サービス提供実施
②	夜勤1コース、平日運番2コース、早番の維持により、両事業の夜間早朝訪問の充実と増収を目指す	⇒ 人員不足のため10月より深夜帯はオンコール体制となる
③	訪問介護・ナーシングホーム・訪問看護・居宅支援との相互協力と連携体制による新規依頼の受託強化	⇒ 一部ナーシングホームの介護職も兼務となりサービス提供実施
④	特定事業所加算1、特定処遇改善加算等の算定要件を維持する	⇒ 維持できた
	5 職員の増員と適宜職員の面接を実施	
2)	サービスの質の向上と維持	
①	主任・リーダー会議と研修参加による、育成の強化	
②	ナーシングホームとの一体化会議、合同ミーティングと各勤務帯定期的ミーティング、勉強会の開催により、質の向上をはかる	

居宅支援センター事業

目標	実績を算定できる利用者 1608名/年 (134名/月 : 重度者割合50%) (1か月の支援費 : 軽度者 11,754円/1人、重度者 15,268円/1人) ⇒1531名/年 (127名/月)	
	退院連携加算 (5,004円×35回/年)、ターミナル加算 (4,448円×5回/年)、要支援 (4,130円/1人×300名/年)、認定調査 (4,950円×20件/年)	
	⇒ 要支援 286名	⇒ 認定調査 61件
1. 個々のスキルアップ、サービスの均一化を目指して、研修への参加推奨や事例検討を行う		
1)	個々の研修テーマを決め、ケアマネジメント力の向上に努める	⇒ 務めた
2)	他法人や包括支援センターとの事例検討会等に参加する(WEB参加を含む)	⇒ 隔月で所内の事例検討会実施、外部の事例検討会 6回参加
2. 就労状況やライフバランスを考慮し、仕事へのモチベーションが保てる職場環境を整える		
3. より良い居宅支援を行うことにより各種加算を得て経営の安定を図る		
1)	特定事業所加算・Iの算定要件を保つ 《特定加算・1》5,615円/1人×1488名=8,355,120円/年	⇒ 1年間維持できた
①	法令を遵守し、減算の無い居宅支援を行う	⇒ 減算なし
②	特定加算要件を満たすため、介護支援専門員基礎研修の在宅実習生の受け入れ体制を整える	⇒ 実習生3名を受け入れた。内1名が入職に繋がった。
③	加算の人員要件を満たす為、現在の職員体制を維持する	⇒ 7月に常勤1名が退職したが、1月に常勤1名が入職した。
④	利用者の重度割合40%以上を維持する	⇒ 月平均の重度割合 52%
3)	次年度も医療介護連携加算の算定ができるよう、積極的に医療連携に取り組む 《連携加算》1,390円/1人×1,440名=2,001,600円	⇒ 次年度は算定不可
①	退院時の病院訪問による情報共有 年35回以上	⇒ 28回 コロナ対応が2類から5類になった5月から電話での情報収集が算定不可になった。 しかし、それ以後も訪問禁止の病院があった。
②	癌による自宅死亡を支援するターミナルケア 年5回以上	⇒ 4回
4. 地域連携等に貢献し、事業所としての位置を確立する		
	「ケアネットつづき」の事務機能と連絡業務の中心的役割を果たす	⇒ 果たせた

福祉用具センター事業

目標	利用者及びスタッフが必要とする衛生材料や介護用品を円滑に提供できる	
1)	介護用品・衛生材料の販売業務を継続する	⇒収入1,649,602円 支出1,306,968円
2)	ナーシングホームおよび訪問看護の福祉用具の管理を行う	⇒福祉用具の破損等なし

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業、夜間対応型訪問介護事業（24時間在宅ケアステーション）

目標	夜間対応型訪問介護利用者 108名/年	⇒ 62名/年 死亡、入院により減少（定期巡回型令和4年度廃止）
1. 収入維持による介護部門経営の安定		
1)	訪問介護との兼務による現在の業務の維持	
	訪問介護・ナーシングホーム・訪問看護・居宅支援との相互協力と連携体制による経営の安定	⇒ 人員不足の為、10月から深夜帯はオンコール体制となり、一部ナーシングホームの介護職も兼務となり協力
	サービス提供体制強化加算Ⅰ・処遇改善加算等の算定要件の維持	⇒ 維持できた
2. サービスの提供と質の向上・維持		
1)	主任・リーダー会議と各勤務帯ミーティング、研修参加による、質の向上と維持	⇒ 実施できた
2)	訪問看護と計画作成責任者との連携	⇒ 利用者へのコール機の使用方法的の練習等協力依頼実施

看護小規模多機能型居宅介護事業（ナーシングホーム）

目標	登録数 300件/年（25名/月） 介護保険登録者単価 425,552円/件	⇒ 登録者数215名/年（月平均登録者数:18名/月）介護保険平均404,889円/名 医療保険平均190,072円/名
1. 他部署と協力し適切な職員の確保と利用者の確保し、事業の継続のために経営の安定を図る		
1)	地域の関係機関や住民への広報活動	⇒ 6月「嚙下について」の研修会、8月「夕涼み演奏会」の実施
2)	訪問看護と訪問介護との一体化による人員の確保	⇒ 訪問看護主任リーダーが日替りでNHのリーダーも担当、4月非常勤看護師2名退職、看護休暇中だった常勤看護師が復職
2. 安心で安全な質の高いケアの提供を行う		
1)	訪問看護・訪問介護の一体化に対応した職員研修プログラムの作成オンライン研修（ナーシングスキルライト/お茶の水ケア学院）の活用	
2)	各種マニュアル整備とケアの均一化	⇒ 手順書の作成、感染症、自然災害時のBCP作成の実施
3)	職員の制度の理解を深め、運営方針の共有化	⇒ 「看多機サービス」についての研修開催（6月）
3. 地域住民との連携		
1)	運営推進会議の開催（6回/年）	⇒ 予定通り実施
2)	研修会、イベントの企画と実施	⇒ 6月「嚙下について」の研修会、8月「夕涼み演奏会」の実施 「やさしいK-ART」月1回開催、

諸会費

- 全国訪問看護事業協会
- 神奈川県訪問看護ステーション協議会
- ケアネットつづき
- つづきケアマネ部会
- 横浜在宅看護協議会
- 都筑区訪問看護連絡会
- 横浜市区都筑区社会福祉協議会